

宮城県宮城広瀬高等学校

令和6年度 学校評価 結果及び分析

実施期間 令和6年11月11日（月）～11月28日（木）

有効回答率	生徒	86.3%	(昨年度89.7%)
	保護者	56.3%	(昨年度57.3%)
	教職員	100.0%	(昨年度100.0%)

資料構成	(1) 全体分析	p.1 ~ p.3
	(2) ICT活用分析	p.4 ~ p.5
	(3) 基本データ	p.6 ~ p.7
	(4) 満足度の高い並び	p.8 ~ p.10
	(5) 満足度の経年変化	p.11 ~ p.13

[1] 全体分析

※ 以下では「よく当てはまる」と「大体当てはまる」の数値の和を「満足度」とみなす。

(1) 回収率

生徒対象の学校評価を考査最終日に実施する予定だったが、インフルエンザ感染者の増加が危惧されたため、考査最終日に実施せず、成績処理日の1日を開けた平日に実施した。遅刻、欠席する生徒がおり、まとまった回答ができなかったこともあり、生徒用の回収率が低下した。保護者等用については56.3%と昨年よりもわずかに低下した。

(2) 生徒と教職員の乖離度（教職員満足度－生徒の満足度）

① 教職員の満足度は高いが、生徒の満足度は低い項目（質問番号は生徒用の番号）

- 問2 「教育課程」（10.6）（昨年度12.7）
- 問6 「いじめの早期発見」（20.6）（昨年度23.6）
- 問9 「学校行事」（15.9）（昨年度15.2）

② 教職員の満足度は低い、生徒の満足度は高い項目

- 問4 「部活動」（-4.6）（昨年度-16.7）
- 問5 「生徒会活動」（-4.5）（昨年度-1.0）
- 問10 「学校生活の充実」（-3.4）（昨年度3.0）

(3) 満足度の並び

① ベスト3

- 生徒 1 ICT活用、2 学校情報の伝達、3 進路目標の明確化
- 保護者等 1 ICT活用、2 学校行事、3 学校情報の伝達
- 教職員 1 教育課程、2 いじめの早期発見、3 学校行事

② ワースト3

- 生徒 1 特色ある学校づくり、2 入学して良かった、3 いじめの早期発見
- 保護者等 1 施設設備、2 いじめの早期発見、3 部活動
- 教職員 1 部活動、2 生徒会活動、3 学校生活の充実

(4) 満足度の経年変化

① 2年連続で上昇している項目

- 生徒 「授業」「基本的生活習慣の確立」「進路目標の明確化」「生徒会活動」「災害・非常時」「学校情報の伝達」「いじめの早期発見」「教育課程」「ICT活用」
 - 保護者等 「授業」「進路目標の明確化」「生徒会活動」「特色ある学校づくり」「災害・非常時」「学校情報の伝達」「いじめの早期発見」「ICT活用」
- ☆昨年度は4項目だったが、8項目に増加。

- 教職員 「学校行事」「施設設備」「学校生活の充実」「教育課程」の4項目

※昨年と同じ項目、同じ項目数

② 2年連続で下降している項目

生徒 該当なし
保護者等 「入学させて良かった」
教職員 「生徒会活動」

(5) 自由記述

① 生徒用

広瀬らしい広瀬を作ること、もっとより良い学校にする、もっとよくなること、みんなが楽しめるような学校にするという意見などがあり、少数ではあるが、広瀬高校を今よりもさらに良い学校にしたいという生徒の思いを読み取ることができる。また、広瀬高校がなくならないでほしいという意見もわずかながらある。本校に対する愛校心を少なからず感じることができる。このような生徒の思いを励みに、生徒の頑張りを認め、伸ばす働き掛けをしていければと考える。

校則を改善してほしいことや制服の着こなしなどについて、例年同様に記されている。単なるわがままな要求といえるものがあるが、公共でのマナー違反や校則違反をしている生徒に対する課題意識を持っている生徒の意見もみられた。

学校の治安に関する意見はあるものの、昨年度多かった授業妨害等に対する苦情は激減している。教員による授業改善や生徒に対する日々の働き掛けの成果と考えられる。

② 保護者等用

進路に関するサポート、将来について考えられる体制の継続、将来を思い描けるような声掛け、社会人になるための心構え等、生徒の将来に対する働き掛けを期待する意見がみられた。保護者の関心として、生徒が高校を卒業した後、自立して生活していくことができる力を身に付けてほしいという思いが強いと推察できる。

学校生活のことや進路情報などの情報を面談やウェブ等で適切に知らせてほしいという、情報共有に関する要望もあった。eメッセージやHP等でお知らせしているところではあるが、今後も継続して発信していきたい。また、生徒や家庭への連絡においても、担任の先生方等が中心になって、きめ細かい対応を行っている。生徒を育てていく体制づくりについて、学校と家庭が連絡を密にして、協力できるような方策を講じていければと思う。

今年度も学校生活や登下校の際にみられる問題行動に対して、毅然と指導してほしいという声があった。真面目に学校生活を送りたい者が不利益を被るような状況はやめてほしいという意見もある。また、丁寧な対応に感謝する声がある一方で、教員による温度差を心配する声もあった。

(6) まとめ

いじめに関する項目は、生徒や保護者等と教職員の満足度が乖離する傾向にある。本校では、毎月、いじめアンケートや学校生活アンケートを実施し、何か記述があれば速やかな対応に努めているが、生徒や保護者等の満足度は低い。経年変化では、生徒や保護者等の「いじめの早期発見」に関する評価は2年連続で上昇しているが、アンケート以外の状況把握に課題があるのかもしれない。生徒や学校を取り巻く社会状況が年々変化してきている。SNS上のトラブルなど、想定外の人間関係のこじれや悪化がみられるようになっている。アンケートを定期的に行うことの効果はあると判断するが、

アンケートが全てではないという認識のもと、家庭との連携を密にし、生徒の成長を後押ししていきたい。

今年度は、学校独自の質問項目として、「スタディサプリの活用」から「ICT活用」に関する項目を取り入れた。生徒及び保護者の満足度はいずれも1位であった（生徒90.6%、保護者87.5%）が、教員の満足度は9位であった（92.8%）。順位だけをみると生徒及び保護者と教員の間隔を感じるが、パーセンテージをみるといずれも高い満足度といえる。ICTの活用については、教科の特性に応じて様々な工夫をしていくことで、より効果的な学習支援が可能である。生徒の学習意欲を高める手立ての1つとして、今後も有効活用していきたい。

今回、生徒の満足度で最下位だった項目は「特色ある学校づくり」であった。本校の特色は、立地環境を活かし、他校に比べてボランティア活動や奉仕活動に熱心に取り組む生徒が多いことである。学校としてもボランティア活動の案内を積極に行うほか、取り組んだ時間数に応じて単位を認定するなど、生徒の頑張りを後押ししている。生徒の満足度が低い要因は、本校がボランティア活動等を学校の特色としていること、たくさんの生徒がボランティア活動等に積極的に取り組んでいることなどが、生徒全体に十分に伝わっていないということが挙げられる。特に、本校のように、ボランティア活動を単位認定する学校は、県内においても少ないことはあまり知られていないと思われる。

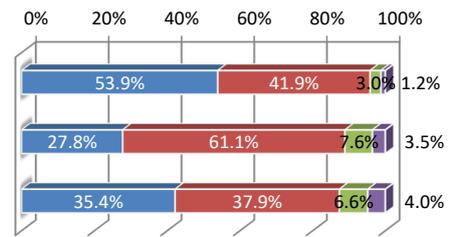
これまでも、HPや学校だより等で生徒の活動を発信してきた。今後は学校だよりを学校の内外に掲示するなど、今まで以上に学校の取組を発信する方法を工夫していきたい。さらに生徒間においても、友達がボランティアや奉仕活動で頑張っていること知ってもらえるよう働き掛けていきたい。

(2) 令和6年度 ICT活用詳細分析

令和6年度結果

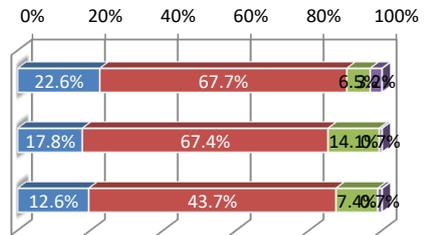
適合度: 1 よく当てはまる 2 だいたい当てはまる 3 あまり当てはまらない 4 当てはまらない

		人			
対象	質問項目	1	2	3	4
生徒	1学年 ICT (iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	90	70	5	2
	2学年 ICT (iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	55	121	15	7
	3学年 ICT (iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	70	75	13	8



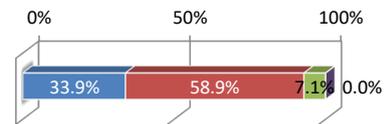
入学		プラス評価(満足度)			合計(人)			合計(%)			マイナス評価
		1	2	合計(人)	1	2	合計(%)				
R06	1学年	よく当てはまる + だいたい当てはまる	90	70	167	53.9%	41.9%	95.8%	4.2%		
R05	2学年	よく当てはまる + だいたい当てはまる	55	121	198	27.8%	61.1%	88.9%	11.1%		
R04	3学年	よく当てはまる + だいたい当てはまる	70	75	166	42.2%	45.2%	87.3%	12.7%		

		人			
対象	質問項目	1	2	3	4
保護者	1学年 ICT (iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	28	84	8	4
	2学年 ICT (iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	24	91	19	1
	3学年 ICT (iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	17	59	10	1



入学		プラス評価(満足度)			合計(人)			合計(%)			マイナス評価
		1	2	合計(人)	1	2	合計(%)				
R06	1学年	よく当てはまる + だいたい当てはまる	28	84	124	22.6%	67.7%	90.3%	9.7%		
R05	2学年	よく当てはまる + だいたい当てはまる	24	91	135	17.8%	67.4%	85.2%	14.8%		
R04	3学年	よく当てはまる + だいたい当てはまる	17	59	87	19.5%	67.8%	87.4%	12.6%		

対象	質問項目	1	2	3	4
教員	ICT (iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	19	33	4	0



対象	プラス評価(満足度)	1	2	合計(人)	1	2	合計(%)	マイナス評価
教員	よく当てはまる + だいたい当てはまる	19	33	56	33.9%	58.9%	92.9%	7.1%

分析

今年度から、学校独自項目として、昨年度までの「スタディサプリ活用」に関する項目から「ICT活用」に関する項目に変更した。そのため、経年変化を見ることはできない。

生徒の学年ごとの満足度をみると、1学年は95.8%、2学年は88.9%、3学年は87.3%と高い評価を得られている。保護者においても、1学年90.3%、2学年85.2%、3学年87.4%と高い評価である。教員においても、92.9%と高い評価が出ていることが分かる。この結果は、教員がICTを活用し、生徒にとってより効果的な学習支援を行おうとしてきた努力の成果ではないかと考える。

ICTの活用については、今後も工夫、改善していく必要がある。次年度以降も学校評価項目に取り入れて、ICTの効果的な活用を模索していきたい。

令和6年度 学校評価(結果)

宮城県宮城広瀬高等学校

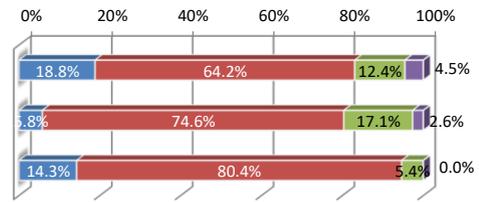
実施日: 令和6年11月11日(月)～11月28日(木)

有効回答率: 生徒86.3%, 保護者等56.3%, 教職員100%

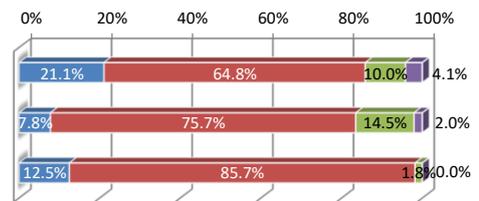
(3) 生徒・保護者・教員 基本データ

適合度: 1 よく当てはまる 2 だいたい当てはまる 3 あまり当てはまらない 4 当てはまらない

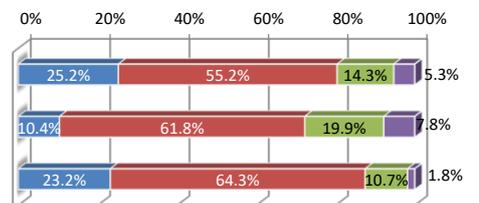
対象	質問項目	1	2	3	4
問1 生徒	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。	100	341	66	24
問1 保護者	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。	20	258	59	9
問1 教員	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業を行っている。	8	45	3	0



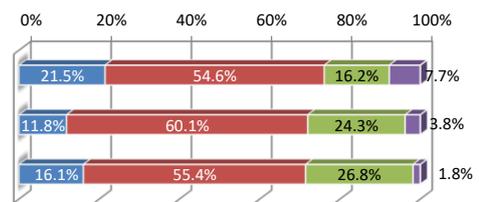
対象	質問項目	1	2	3	4
問2 生徒	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	112	344	53	22
問2 保護者	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	27	262	50	7
問2 教員	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	7	48	1	0



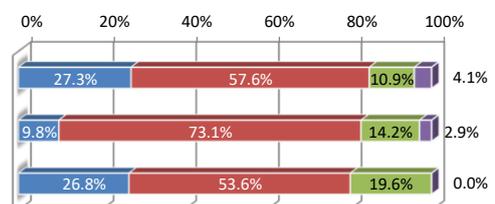
対象	質問項目	1	2	3	4
問3 生徒	生徒にとって、挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	134	293	76	28
問3 保護者	生徒に対して、挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	36	214	69	27
問3 教員	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣確立の生活指導を行っている。	13	36	6	1



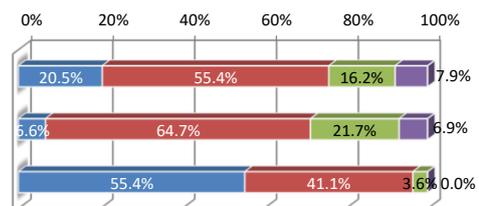
対象	質問項目	1	2	3	4
問4 生徒	学校として、部活動は活発に行われている。	114	290	86	41
問4 保護者	学校として、部活動は活発に行われている。	41	208	84	13
問4 教員	部活動に活発に取り組ませる指導を行っている。	9	31	15	1



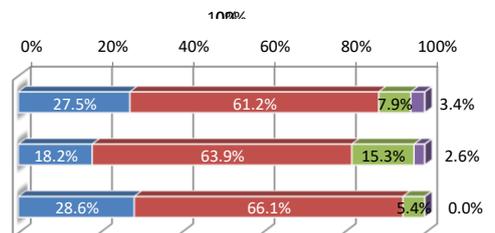
対象	質問項目	1	2	3	4
問5 生徒	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	145	306	58	22
問5 保護者	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	34	253	49	10
問5 教員	生徒会活動に活発に取り組ませる指導を行っている。	15	30	11	0



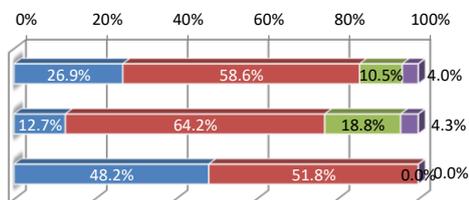
対象	質問項目	1	2	3	4
問6 生徒	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	109	294	86	42
問6 保護者	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	23	224	75	24
問6 教員	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組み、いじめ問題に対する取組方針を保護者と共有している。	31	23	2	0



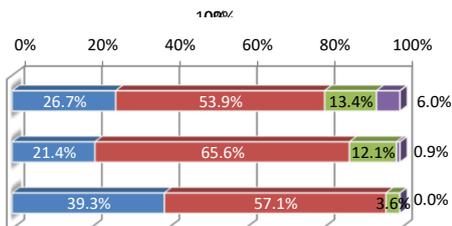
対象	質問項目	1	2	3	4
問7 生徒	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	146	325	42	18
問7 保護者	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	63	221	53	9
問7 教員	進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	16	37	3	0



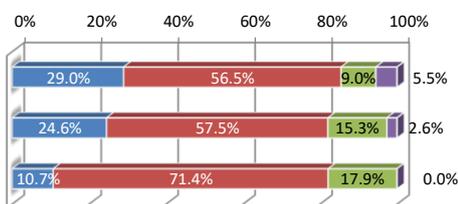
	対象	質問項目	1	2	3	4
問8	生徒	生徒にとって、教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	143	311	56	21
問8	保護者	生徒にとって、教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	44	222	65	15
問8	教員	教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制をとっている。	27	29	0	0



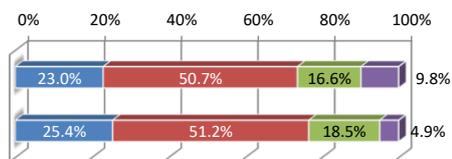
	対象	質問項目	1	2	3	4
問9	生徒	自分にとって、有意義な学校行事がある。	142	286	71	32
問9	保護者	生徒にとって、有意義な学校行事がある。	74	227	42	3
問9	教員	学校行事に積極的に取り組ませる指導を行っている。	22	32	2	0



	対象	質問項目	1	2	3	4
問10	生徒	自分にとって、学校生活は充実している。	154	300	48	29
問10	保護者	生徒の学校生活は充実している。	85	199	53	9
問10	教員	生徒は充実した学校生活を送っている。	6	40	10	0



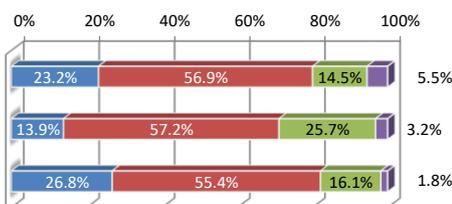
	対象	質問項目	1	2	3	4
問11	生徒	宮城広瀬高校に入学して良かったと思っている。	122	269	88	52
問11	保護者	宮城広瀬高校に入学させて良かったと思っている。	88	177	64	17



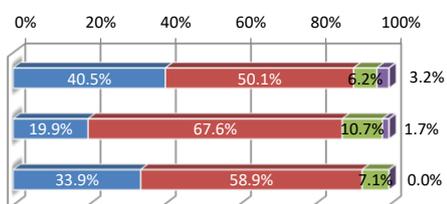
	対象	質問項目	1	2	3	4
問12	生徒	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	107	282	111	31
問12	保護者	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	39	217	73	17
問11	教員	特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	13	34	9	0



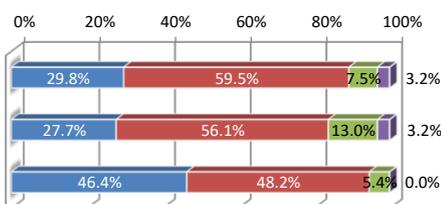
	対象	質問項目	1	2	3	4
問13	生徒	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	123	302	77	29
問13	保護者	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	48	198	89	11
問12	教員	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	15	31	9	1



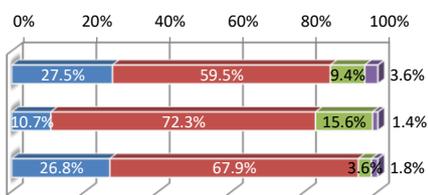
	対象	質問項目	1	2	3	4
問14	生徒	ICT(iPad、クロームブックやロイノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	215	266	33	17
問14	保護者	ICT(iPad、クロームブックやロイノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	69	234	37	6
問13	教員	ICT(iPad、クロームブックやロイノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	19	33	4	0



	対象	質問項目	1	2	3	4
問15	生徒	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	158	316	40	17
問15	保護者	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	96	194	45	11
問14	教員	学校便り・進路便りなどによって、学校の情報を適切に保護者へ伝えている。	26	27	3	0

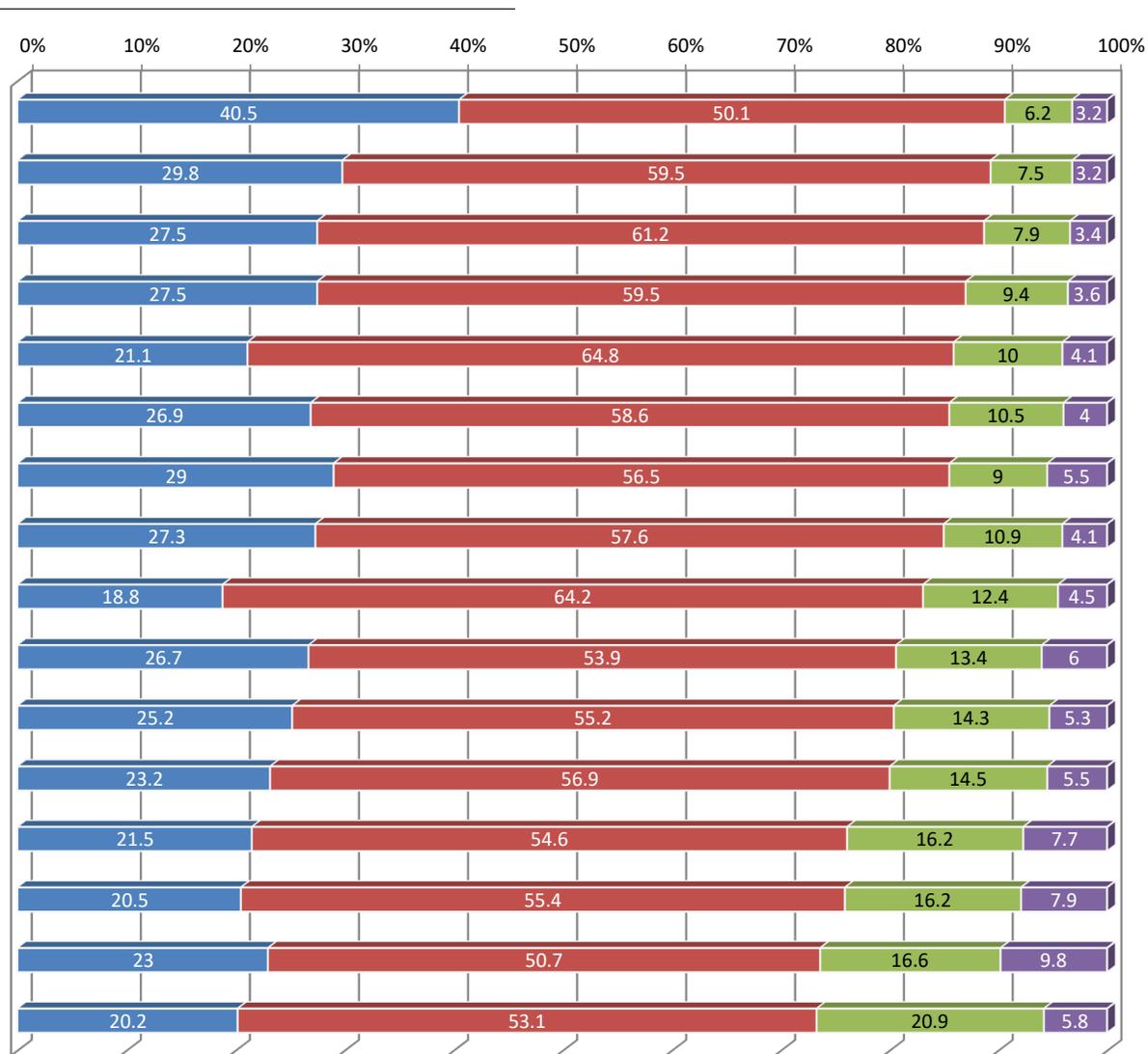


	対象	質問項目	1	2	3	4
問16	生徒	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	146	316	50	19
問16	保護者	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	37	250	54	5
問15	教員	災害・非常時の避難方法や連絡方法を生徒・保護者に伝えている。	15	38	2	1



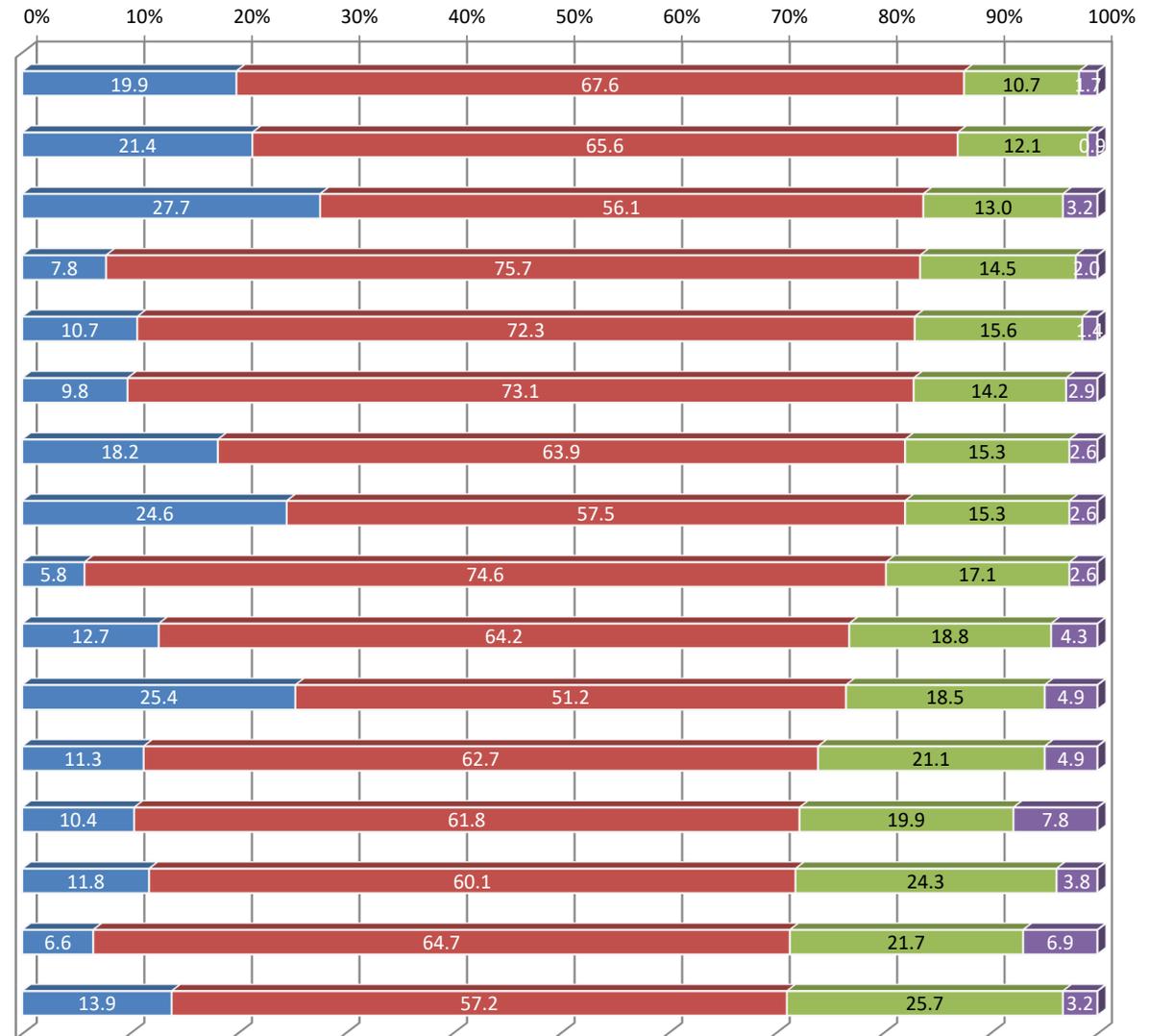
生徒 (4) 満足度の高い並び(よく当てはまる+だいたい当てはまる)

満足度	順	問	質問項目
90.6	1	14	ICT(iPad、クロームブックやロイノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。
89.3	2	15	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。
88.7	3	7	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。
87.0	4	16	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。
85.9	5	2	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。
85.5	6	8	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。
85.5	6	10	自分にとって、学校生活は充実している。
84.9	8	5	学校として、生徒会活動は活発に行われている。
83.0	9	1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。
80.6	10	9	自分にとって、有意義な学校行事がある。
80.4	11	3	生徒にとって、挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。
80.1	12	13	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。
76.1	13	4	学校として、部活動は活発に行われている。
75.9	14	6	学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。
73.7	15	11	宮城広瀬高校に入学して良かったと思っている。
73.3	16	12	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。



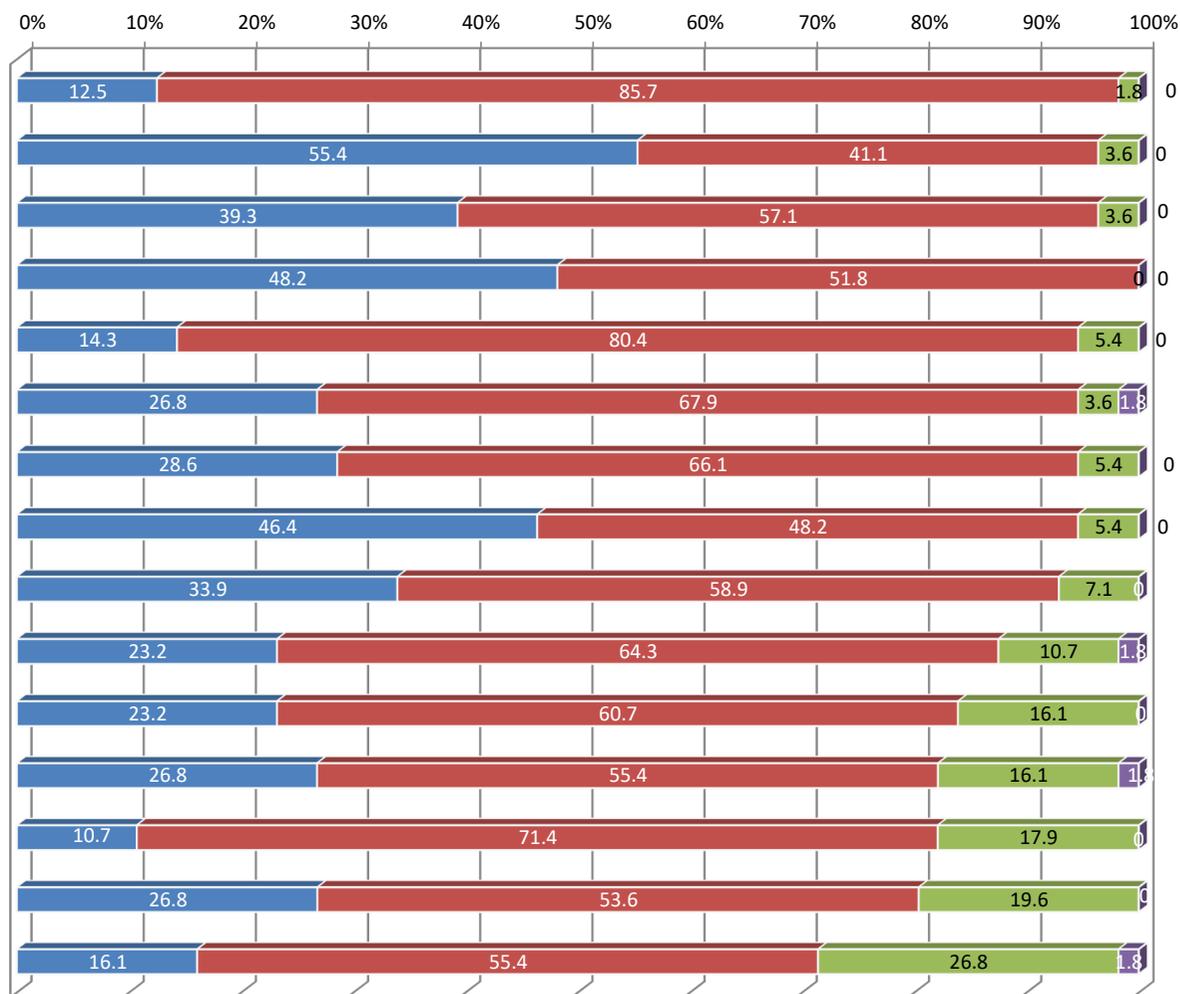
保護者 満足度の高い並び(よく当てはまる+だいたい当てはまる)

満足度	順	問	質問項目
87.5	1	14	ICT(iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。
87	2	9	生徒にとって、有意義な学校行事がある。
83.8	3	15	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。
83.5	4	2	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。
83	5	16	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。
82.9	6	5	学校として、生徒会活動は活発に行われている。
82.1	7	7	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。
82.1	7	10	生徒の学校生活は充実している。
80.4	9	1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。
76.9	10	8	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。
76.6	11	11	宮城広瀬高校に入学させて良かったと思っている。
74	12	12	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。
72.2	13	3	生徒に対して、挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。
71.9	14	4	学校として、部活動は活発に行われている。
71.3	15	6	学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。
71.1	16	13	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。



教職員 満足度の高い並び(よく当てはまる+だいたい当てはまる)

満足度	順	問	質問項目
98.2	1	2	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。
96.5	2	6	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組み、いじめ問題に対する取組方針を保護者と共有している。
96.4	3	9	学校行事に積極的に取り組ませる指導を行っている。
96.2	4	8	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じる体制をとっている。
94.7	5	1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業を行っている。
94.7	5	15	災害・非常時の避難方法や連絡方法を生徒・保護者に伝えている。
94.7	7	7	進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。
94.6	8	14	学校便り・進路便りなどによって、学校の情報を適切に保護者へ伝えている。
92.8	9	13	ICT(iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。
87.5	10	3	挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。
83.9	11	11	特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。
82.2	12	12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。
82.1	13	10	生徒は充実した学校生活を送っている。
80.4	14	5	生徒会活動に活発に取り組ませる指導を行っている。
71.5	15	4	部活動に活発に取り組ませる指導を行っている。



(5)経年変化:3年間比較(よく当てはまる+だいたい当てはまる)

※県提出項目の並び

① 生徒

参考 %

	質問項目	R4年度	R5年度	R6年度	前年比較	3年上下
1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。	73.0	79.7	83.0	3.3	↗
2	生徒にとって、挨拶や公共でのマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	75.6	77.1	80.4	3.3	↗
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	82.9	84.9	88.7	3.8	↗
4	生徒にとって、教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	81.8	81.5	85.5	4	
5	学校として、部活動は活発に行われている。	73.6	76.3	76.1	-0.2	
6	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	77.7	81.7	84.9	3.2	↗
7	自分にとって、有意義な学校行事がある。	76.2	81	80.6	-0.4	
8	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	66.4	76.5	73.3	-3.2	
9	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	82.9	84.2	87.0	2.8	↗
10	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	82.9	85	89.3	4.3	↗
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	70.0	82.3	80.1	-2.2	
12	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	70.7	72.5	75.9	3.4	↗
13	自分にとって、学校生活は充実している。	80.6	79.9	85.5	5.6	
14	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	80.6	84.5	85.9	1.4	↗
15	宮城広瀬高校に入学して良かったと思っている。	76.1	73.6	73.7	0.1	
16	ICT(iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	70.5	76.3	90.6	14.3	↗

② 保護者

参考 %

	質問項目	R4年度	R5年度	R6年度	前年比較	3年上下
1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。	71.6	75.6	80.4	4.8	↗
2	生徒に対して、挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	71.7	70.5	72.2	1.7	
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	76.9	79	82.1	3.1	↗
4	生徒にとって、教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	75.1	79.1	76.9	-2.2	
5	学校として、部活動は活発に行われている。	66.4	73	71.9	-1.1	
6	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	74.4	79.4	82.9	3.5	↗
7	生徒にとって、有意義な学校行事がある。	74.5	88.3	87.0	-1.3	
8	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	65.6	73.4	74.0	0.6	↗
9	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	70.2	74.6	83.0	8.4	↗
10	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	70.2	73.2	83.8	10.6	↗
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	68.8	73.1	71.1	-2	
12	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	64.3	68.3	71.3	3	↗
13	生徒の学校生活は充実している。	82.8	83.7	82.1	-1.6	
14	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	80.3	83.5	83.5	0	
15	宮城広瀬高校に入学させて良かったと思っている。	82.3	80.3	76.6	-3.7	↘
16	ICT(iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	68.4	75.5	87.5	12	↗

※問14は一昨年度までは「生徒の多様な進路目標が実現されるような教育課程となっている」

③教職員

参考 %

	質問項目	R4年度	R5年度	R6年度	前年比較	3年上下
1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業を行っている。	81.1	78.9	94.7	15.8	
2	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣確立の生活指導を行っている。	92.5	77	87.5	10.5	
3	進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	98.2	80.8	94.7	13.9	
4	教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じる体制をとっている。	100	96.1	100	3.9	
5	部活動に活発に取り組ませる指導を行っている。	69.8	59.6	71.5	11.9	
6	生徒会活動に活発に取り組ませる指導を行っている。	83	80.7	80.4	-0.3	↘
7	学校行事に積極的に取り組ませる指導を行っている。	94.4	96.2	96.4	0.2	↗
8	特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	75.5	63.4	83.9	20.5	
9	災害・非常時の避難方法や連絡方法を生徒・保護者に伝えている。	90.6	88.5	94.7	6.2	
10	学校便り・進路便りなどによって、学校の情報を適切に保護者へ伝えている。	90.6	76.9	94.6	17.7	
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	67.9	75.0	82.2	7.2	↗
12	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組み、いじめ問題に対する取組方針を保護者と共有している。	100	96.2	96.5	0.3	
13	生徒は充実した学校生活を送っている。	75.5	76.9	82.1	5.2	↗
14	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	92.5	96.2	98.2	2	↗
15	ICT(iPad、クロームブックやロイロノート等の授業支援アプリなど)は有効に活用されている。	64.1	55.7	92.8	37.1	

令和6年度学校評価（学校関係者評価）

1 学習指導について

- ・個々の能力に沿った授業は不可能と思える。一定のレベルの内容を継続しないと、成績上位者のモチベーションが下がる恐れも考えられるのではないか。

2 生徒指導について

- ・校則などを守る意味を考えるなど、ルールを守らない生徒への指導を工夫する必要がある。
- ・制服の下にジャージを着ることの可否は、生徒自身にアンケートを取ってみてはどうか。
- ・いじめの早期発見、保健室の利用、カウンセラーの体制がうまくリンクしていて良い。

3 進路指導について

- ・生徒の多様化の問題や家庭環境等の変化などにもよるが、学校と家庭が連携して、生徒の進路実現に向かう意欲や社会性の構築などを継続的に指導してほしい。

4 保健指導について

- ・いじめの加害者へのカウンセリングを行ってほしいと保護者からの意見があった。SC（スクールカウンセラー）の活用のさらなる充実をお願いしたい。

5 その他（学校生活全体について）

- ・ICT活用は重要だが読書への取り組みに相反する面もある。小中学校も含めて取り組む必要がある。
- ・家庭への連絡は、紙だけでなくメールをもっと活用してほしい。
- ・予算不足もあり、校舎等の修繕は生徒にとって満足と言えないと思われるが致し方ない。
- ・多くの項目において、昨年より生徒や保護者の皆さんによる評価が上がっていることが確認できた。
- ・広高での学校生活がさらに充実したものとなるよう、地域の私たちも一緒に取り組んでいきたい。